

緊急速報メールへの 取り組みについて

株式会社N T Tドコモ K D D I 株式会社 ソフトバンク株式会社

※「緊急速報メール」とは、N T Tドコモ提供の「緊急速報「エリアメール」」、K D D I およびソフトバンク提供の「緊急速報メール」を指します。

緊急速報メールって何？



緊急速報メールとは

メールの宛先がエリア（具体的には市区町村単位）となり、**指定されたエリア内の対応携帯電話に一斉に着信するサービスです。**

従来の電子メール



メールアドレス宛に送信



To : xxx@docomo.ne.jp



※宛先のメールアドレスを持つ携帯電話が受信

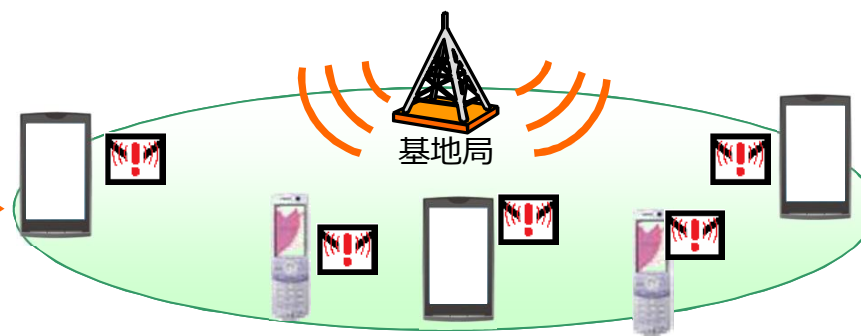
緊急速報メール



エリア宛に送信



To : ○○市



※エリア内の対応携帯電話（スマートフォン含む）が受信

事前のメールアドレス登録が不要のため、
このエリアへの**通勤者や旅行者にも着信します。**

緊急速報メールの特徴

緊急速報メールを用いると、配信エリア内の多数の携帯電話に対し、短時間で緊急地震速報や災害情報を配信することが可能です。

緊急速報メールの特徴

①メールアドレスの管理が不要

メールアドレスを用いず、配信対象エリアの携帯電話に対して配信するため、送信元による配信先アドレスの管理が不要です。

②エリア内なら誰にでも情報配信が可能

緊急速報メールは配信対象エリアの携帯電話※に対して配信されるため、住民はもちろん、一時的にエリア内にいる通勤客、観光客等も配信対象になります。
※対応携帯電話をお持ちのお客様に限ります。

③短時間で同報配信が可能

緊急速報メールは電子メールのように宛先ごとに個別配信せず、ブロードキャスト（同報）配信が可能のため、簡易なメッセージを多数の携帯電話に一斉配信できます。
また、パケット通信とは違う通信方式を用いており、通信混雑の影響を受けにくい仕様となっています。

④待受け画面にポップアップで表示

緊急速報メールを受信すると専用着信音とポップアップ表示で素早く情報を得ることが可能です。
そのため、複雑な操作をすることなく、災害情報に気がつくことができます。

緊急速報メールの概要（１）

緊急速報メールでは以下の情報が配信されます。

緊急地震速報

気象庁が発表する「一般向け緊急地震速報」を携帯電話で受信できるサービス。
気象庁が警報対象とした地域※の市町村に対して配信します。
※最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ（震度4以上）の地域

津波警報

「大津波警報、津波警報※」を携帯電話で受信できるサービス。
気象庁が警報対象とした沿岸に属する市町村に対して配信します。
※気象庁から地震が発生してから約3分を目標に発表されます。

気象等に関する特別警報

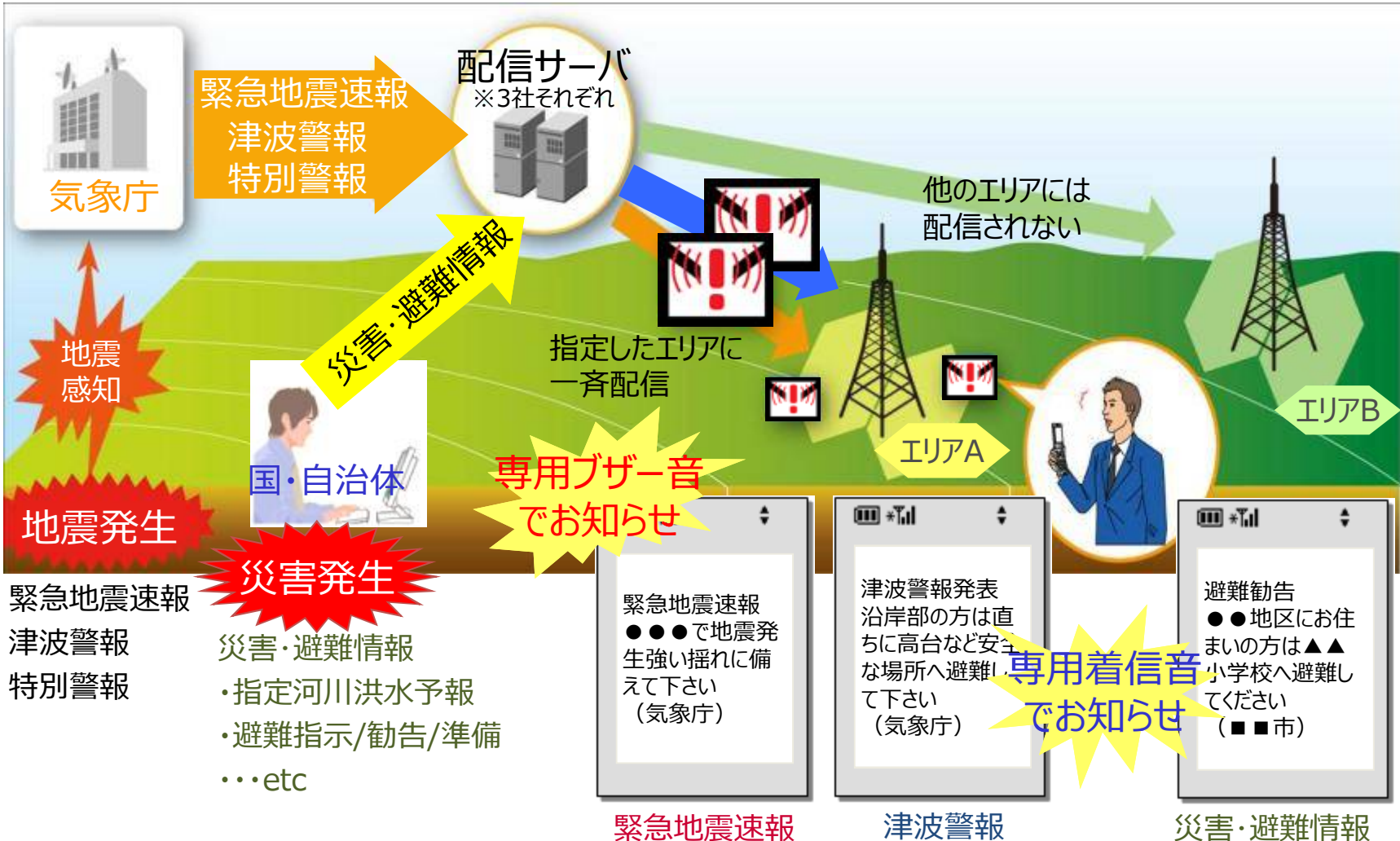
大雨、暴風、高潮、波浪、暴風雪、大雪について、数十年に一度程度の大雨や大雪が予想される場合、または、数十年に一度程度の台風等に伴い暴風等が予想される場合に、気象庁から気象等に関する特別警報が発表されます。

災害・避難情報

国・地方公共団体が独自に発表する、避難勧告・指示、各種警報等の生命に関わるメッセージを受信できるサービス。宛先はメッセージを作成した自治体が管轄している市町村宛となります。

緊急速報メールの概要（２）

気象庁や各自治体から届く配信要求に沿い、下図のイメージで指定されたエリアのみに配信します。



緊急速報メールの概要（３）

緊急速報メールは、携帯電話事業者３社で協調し、**極力差分のないサービスを提供しています。**

NTTドコモ エリアメール

- ◆ 緊急地震速報 : 2007年12月
- ◆ 津波警報 : 2012年 2月
- ◆ 災害・避難情報 : 2007年12月

au（KDDI）緊急速報メール

- ◆ 緊急地震速報 : 2008年 3月
- ◆ 津波警報 : 2012年 3月
- ◆ 災害・避難情報 : 2012年 1月

ソフトバンク 緊急速報メール

- ◆ 緊急地震速報 : 2010年 8月
- ◆ 津波警報 : 2012年 8月
- ◆ 災害・避難情報 : 2012年 1月

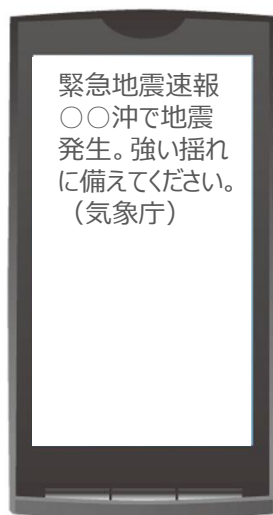


より多くの皆様の「安心・安全」に

緊急速報メールの取り組み①

緊急速報メールの着信音は、**携帯電話事業者間で共通化しています。**

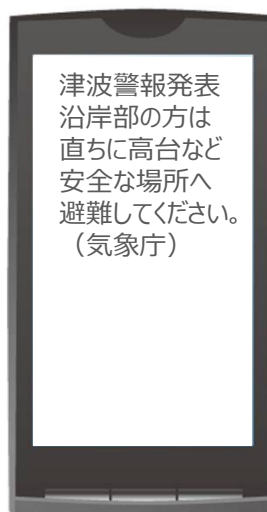
緊急地震速報



ブイッ、ブイッ、ブイッ
地震です！



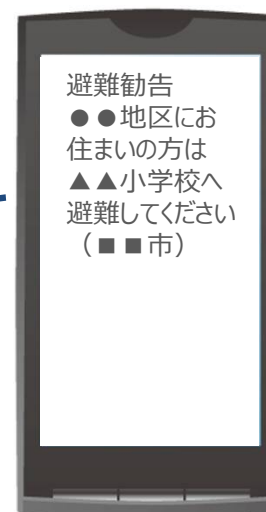
津波警報



ピロロリン♪
津波です！



特別警報 災害・避難情報



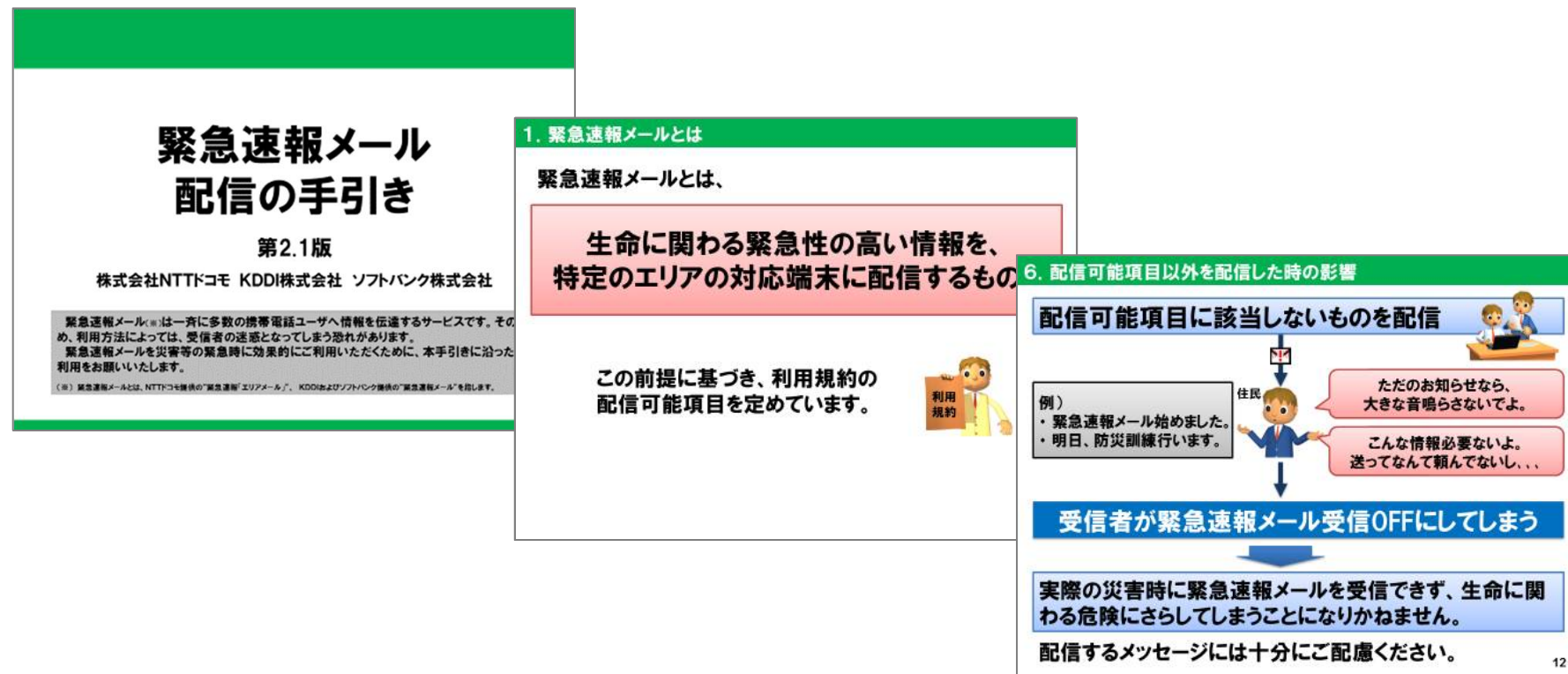
ピロロリン♪
ピロロリン♪



緊急速報メールの取り組み②

- 緊急速報メールは特定エリアにある携帯電話が一斉に受信してしまうため、 unnecessaryな情報が多く配信されると、**受信拒否設定されてしまう事につながります。**
- このため、携帯電話事業者3社では、**共通の「配信の手引き」**を作成し**情報配信の適切な運用を呼びかけています。**

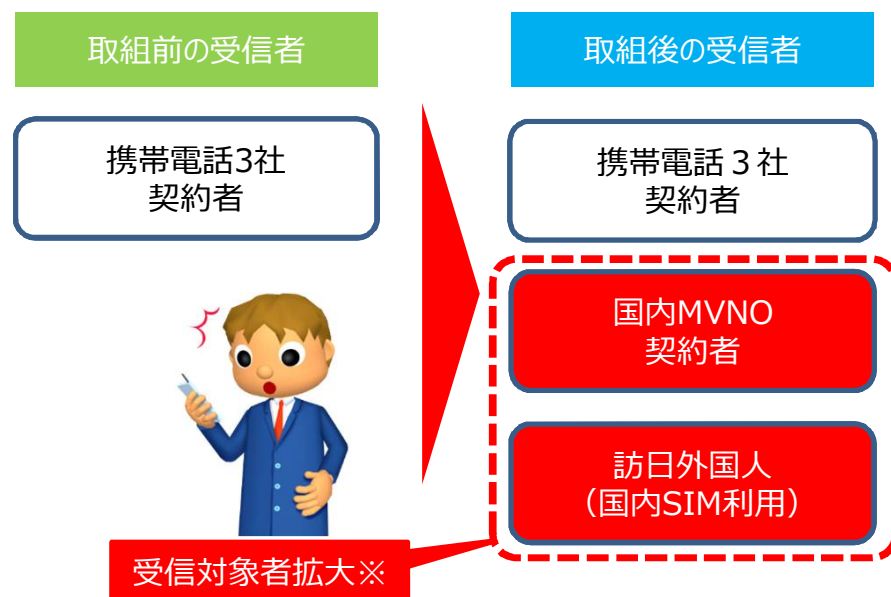
[緊急速報メール配信の手引きイメージ]



緊急速報メールの取り組み③

■ 携帯電話事業者 3 社で共通受信仕様を策定し、Google社に働きかけた事で、受信対象者をSIMフリースマートフォン利用者（MVNO契約者、訪日外国人等）へ拡大しました。

■ 緊急速報メールの受信対象者



※スマートフォンがAndroid 8.1.0_r9以降のOSを搭載し、国内携帯電話事業者の発行するSIM（MVNO含む）を利用した場合に受信機能が有効になります。

■ 業界団体ホームページにて告知（2017年12月25日）

http://www.tca.or.jp/topics/2017/1225_844.html

